

週 報

こひつじ

第41巻 1号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

あなたが正しいからではなく (三)

その三 予定の信仰がもたらすもの

日本で最初にノーベル賞を受賞したのは湯川秀樹は、その自叙伝で、自分分はひよとして大学教育を受けな

い人生を送ったかもしれないと書いてある。しかしいつもは控えめな秀樹の母が毅然として夫の考えに反論した。

「目立たない子もあるものです。目立つ子や才気走った子がすぐれた仕事をする人間になるというわけでは御座いますまい。それに、どの子にも同じようにしてやりたいと存じます。不公平なことは出来ません」

父親は思った。自分の給料で、五人を大学に送るのは難しい。それに秀樹はおとなしく、何か内側で自分を抑えているものがある。あの子のために、大学教育より、専門学校

のほうがいいのではないか。父親の考ではないが、このことを考えると不思議な思いにさそわれる」

私たちの人生も、振り返ってみると、神の摂理と思われることがいくつもあ

るのではないだろうか。予定の教えがどんなものかを、よく示しているのが、ヨセフの人生だ。

彼は、兄たちに憎まれ、エジプトに

売り飛ばされる。その後、さまざま

な苦難を経たのち、ふとしたことでエジプトの王の夢を解き明かし、そのため王に重宝され、ついには総理大臣となるのである。

その頃、その地方に大飢饉が起こり、自分をエジプトに売った兄たちが、

謹賀新年

昨年、様々な所で奉仕の機会がありました。一月は北海道のC F N J聖書学院、四月は奈良の関西聖書学院、一月は西宮と堺で開かれたレディース研修会などです。八〇歳近くになつて、なお必要としてくださる方のあるのはうれしいことです。招かれるときは、いつも妻もいっしょに出かけます

すると、「奥様の話もお聞かせください」と言われます。彼女はいつも原稿なしに話すので、どこへ進むのだろうと思っていると、やがてそれはきちんとまとまった話になって終わるのですから、その話術はたいしたものだと思います。七早朝の散歩は続いています。七

時からの祈り会も続いています。したがって夜は早く休みます。九時にはベッドに入り、三〇分ほど本を読みます。

最近はずっと『赤毛のアン』を読んでいた。彼女の想像力、前向きな生き方が、何となく愉快だったのです。「神は天にあり、世はすべてよし」(イギリスの詩人ブラウニングのことば)を、アンがそつとささやくところで、その本は終わります。

決して希望を捨てない、彼女の楽天的生き方の背後に、この信仰があつたのでしょうか。

今年も皆様の祝福を祈ります。

二〇二五年元旦

米村 英二、幸子

食糧を求めてエジプトにやってくる。
兄たちは、知らないで、ヨセフの前に
ひれ伏し、食糧を懇願する。

そのとき彼はわかる。

自分が様々な不幸にあったのは、
私の父及び兄弟たちを飢饉から救
うためだったのだと。

そこで自分の前にひれ伏す兄たち
に、言う。

「私はあなたがたがエジプトに売った
弟のヨセフです。今、私をここに売っ
たことで心を痛めたり、怒ったりして
はなりません。神はいのちを救うた
めに、あなたがたより先に、私を遣
わしてくださったのです」(創世記
四五の四、五)

ヨセフの一生に起こった事はすべて、
良いことも悪いことも神の計画だっ
た。

ヨセフの人生が、神の予定、神の計
画によって導かれたように、私たちの
人生も同じである。

私たちが、今日あるのは、私の努力
や、熱心に関係なく、神の一方的な
恵みによつたのである。

このような予定の教理を信ずると
き、何が私たちに起こるか。

第一に、自分の過去と和解する。

あのときこうしておけばよかった、
ああしておけばよかった、と後悔を
することはもはやない。

すべてはそのままでもよかったのであ
る。

だからヨセフは、自分をエジプトに
売った兄たちを恨まなかった。

天国に行ったとき、私たちは自分
に起こった過去のすべてが神の配慮に
よつたことを知るだろう。ああ、そう
いうことのためだったのかと。

第二に、未来の恐れから解放され
る。過去がすべて神の配慮によつたの
なら、未来も同様ある。

今後、何が起こるかわからない。で
も、私には、次のヒルティの言葉が日
ごとの助けになっている。

「なにごとが起ころうと、すべて
は神のみ手から授けられるものと
信じ、もはやいろいろと思わず
らうことなく、ただ開いた門を通
つて行くならば、その人の人生は
すでに幸福になりはじめたのであ
る」

(終)

今日の礼拝

○第一礼拝は午前一〇時から、

第二礼拝は午前一一時から。

○教会学校は午前一〇時から。

○説教は坂田壮一さん。

先週の礼拝

○礼拝の司会は林田はるかさん、説教はヨハネ第一の手紙から、
神は光であられるので、神と交わ
るために求められるのは、正直な
心だけだと語りました。

○午後五時から若い人たちを中
心にたこ焼き交流会をしました。

参加者は約二〇名。

先週の出席

○礼拝参加者は、第一礼拝が四
四名、第二が三九名、合計八三名
(男三一、女五二)。それに子ども
が二名、合わせて八五名でした。

米村牧師夫妻の予定

米村牧師夫妻は、一月一八日(土)
一二月六日(日)までCFNJ聖書
学院での講義のため北海道出張で
す。

す。